



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2008~2009)

- ・国際協会会長 『Be the Light of Hope』
V.S.Bashir (India インド) 「希望の灯となろう」
- ・アジア地域会長 『Be the Light of Hope』
Rita .Hettiarachchi (Sri Lanka スリランカ)
- ・西日本区理事 『思いやりを持ってワイズライフを!』
佐藤 典子 (熊本ジェーンズ) "Share with a smile"
- ・六甲部 部 長 『"悠々として急げ、ワイズライフ"』
山口 政紀 (西宮) 「Festina Lente」
- ・西宮クラブ会長 『参加して、奉仕しよう!』
濱 浩一 "Let's join us in serving others!"

2009年6月
733号 60周年
62期-12号
since 1948.5.17

スポンサークラブ
大 阪 クラブ
D B C
近江八幡クラブ
広 島 クラブ

クラブ主役員	
会 長	濱 浩一
直前会長	小野 勅紘
副会長(次)	浅野 純一
副 会 長	岩田 健司
書 記	小野 勅紘
書 記	丸山 悦治
会 計	山本 常雄
会 計	藤原 百合子
監 事	小林 光枝
監 事	足立 康幸
担当主事	三島 浩司
六甲部長	山口 政紀
六甲部書記	廣瀬 一雄
六甲部会計	足立 康幸

2009年6月 西日本区強調ポイント "評価・計画"
西日本区2000名まであと何名? 1年を振り返って最後に「楽しかったね」と皆さんで言えましたか。その評価や反省を次年度の計画に生かしましょう。
佐藤典子 理事(熊本ジェーンズクラブ)

2009年6月第1例会のご案内

今月のテーマ: 『評価・計画』
日時: 2009年6月19日(金)午後7時~
場所: 西宮YMCA 保育園3Fホール
ドライバー: **武藤**メン、**廣瀬**メン

- | | |
|-------------|------|
| 1. 開会点鐘 | 濱会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | |
| 4. ゲスト紹介 | 濱会長 |
| 5. 食前の感謝 | |
| 6. 評価 08-09 | 濱会長 |
| 7. 08-09 決算 | |
| 09-10 予算・計画 | |
| 8. 誕生日のお祝い | 一同 |
| 9. ワイズニュース | 濱会長 |
| 10. YMCA 報告 | 三島主事 |
| 11. 閉会点鐘 | 濱会長 |

西日本区強調月間リスト 通年 【PR】
大衆がなにを求めているかを的確に捉え、現代の理想社会に必要とされているのがワイズの精神であるということ、一人でも多くの方々を知って頂きましょう。
中堀清哲広報事業主任・鹿兒島 C **ご覧ください。URL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>**

今月の 聖 句

「はっきり言っておく。あなたは、若いときは、自分で 帯を締めて、行きたいところ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯びを締められ、行きたくないところへ連れて行かれる」...イエスは(ペテロに)こう言われたのである。
(ヨハネによる福音書21章18~19)
佐野信三メン選

5月 例会出席状況	在籍会員数
第1例会(5.15金)	21名
第2例会(5.1金)	
メ ン 15名	メ ン 9名
メネット 1名	メネット 0名
ゲスト 0名	ゲスト・ビジター 0名
ビジター 0名	
合計 16名	合 計 9名
出席率 71.4%	

Happy Birthday To You

- お誕生日おめでとうございます
- 13日 **山口 洋子メネット**
 - 16日 **武藤義夫メン**
 - 17日 **岡田春美メネット**
 - 21日 **浅野恭子メネット**

会長メッセージ

濱 浩一 会長

いよいよ、あと一ヶ月となり、6月例会は今年度の活動方針と評価となりました。最後までテーマ『参加して、奉仕しよう!』を貫きたいと思っています。西宮クラブの皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。感謝

5月例会報告

足立 康幸メン

4月例会はY M C A職員歓迎会(中華料理 黄老) 5月の連休は西宮ワイズ親睦会(阪根メン宅)と楽しい食事が続きましたので 西宮Y M C Aで肅々とした例会をもちたいと思い 山口六甲部 部長の六甲部活動報告をお願い致しました。

一年間の御苦勞話をして頂きました。 余島での六甲部部会では山口部長が病気で入院され一時はどうなることやら! しかし、西宮ワイズのメンバーが一致団結し頑張り無事成功のうちに終了



写真は誕生日祝いの馬場メン・堤メン・メネット代理の足立メン。前列にスピーカーの山口メンと濱会長です。

神戸Y M C AワイワイフォーラムではYサ主査 加茂メンといろいろ苦勞され、それぞれの主査の方々の頑張りがあり無事3月の評議会を終了された事に感謝され一年間良い活動ができたのご報告がありました。

スクリーンでの報告も良くまとめられており、少ない時間ではありますが西日本区会では元気な六甲部をアピールして下さい。

会長はじめ各人から報告がありP M9 時、例会が閉会となりました。

広島西ワイズメンズクラブ チャーターナイトに参加して

足立 康幸メン

日 時 2009年5月24日(日) 13時~17時

場 所 ひろしま国際ホテル

チャーターメンバー数 27名

スポンサークラブ 広島ワイズメンズクラブ

参 加 者 89名

2009年5月24日(日) 西日本区89番目のクラブとして国際協会から加盟承認されました。広島クラブ 藤川 洋メンの司会で認証状伝達式が始まり、式終了後、祝賀会が行われました。広島では10年ほど前から新クラブの設立の話があったと聞いております。この度、新クラブ誕生までは山野進メンをはじめ大変なご苦勞があったと聞かされました。一時凍結したという声も漏れ始めた時期もあったそうです。

時間がかかった分チャーターメンバー数も多く、特に若いメンバーが多かったのには、関心致しました。今後はパキスタン ラホールY M C A、アフガン難民の小学校等 フィリピン セブY M C Aが支援している漁村や山村の小学校へデジタルワークキャンプの実施(国際ボランティア活動)、広島Y M C A 雲月山キャンプ村の補修整備事業を中心に活動されるそうです。大いなる活動を期待しております。

若いメンバーが多いただけにワイズに新風をおこす活気あるクラブとして活動される事と思います。

西日本区だより-2

小野 勅紘メン

西日本区はいよいよ来月の第12回西日本区大会(熊本)が迫り準備に余念がありません。6月6日7日が西日本区大会でその翌週の13日 14日

が十勝での東日本区大会で今期の集大成を迎えます。

ところが我が西日本区キャビネットでは病気入院者が続出で少し休養中です。昨年末に鈴木次期理事が顔の鼻の横の腫瘍で入院摘出したのを初めとして、5月初旬杉本次期会計が心臓動脈瘤の手術で入院、中旬から先週末では上野次期書記が甲状腺の腫瘍を摘出手術と続いています。幸い皆さん予後は良くて順調に快復されているようですが、それ以上続かないよう祈るばかりです。ワイズの昨今は特に高齢化していますので、健康管理と睨み合わせの活動も止むを得ないでしょう。

さて、今月は次期キャビネットは西日本区大会と同時に開催される次期準備役員会の準備が中心になります。5月一杯で議案の取り纏めと資料の準備をすることになります。現執行部の活動をよく見て次期の準備をすることも大切な仕事になるでしょう。とはいえ先のような健康上の課題はまずは体が資本ですから、まずは健康で体力を温存することから始めなければならないでしょう。皆様のご支援をお願いします。

(09-10 理事事務局スタッフ 小野 勅紘)

宝塚のバザーに参加して

浅野 純一メン

5月2日、ゴールデンウィークの真っ只中の土曜日、阪急逆瀬川駅前のアピアで開催された宝塚クラブのバザーに行ってきました。昨年まではアピア1・2で開催されていたようですが、報道にあるように第3セクター方式の「アピア1・2」は経営が破綻し、今年は「アピア3」での開催です。「アピア3」の運営主体は民間だそうです。

さて、バザーですが、会場の1階では焼きそばやクッキーの販売、のみの市の開催、地下ではアトラクションやお楽しみラッキー抽選会が行われました。私は1,500円分の抽選券を購入したのですが、リックサックなどが当たり、投資額以上のものを頂きました。

バザーの概要ですが、来場者は約500人、収益は約



会場の1階での、のみの市いよいよ開始です(写真)

35万円、収益金はYMCAの国際協力募金及び宝塚社会福祉協議会に寄付されたとのこと。宝塚ワイズメンズクラブや大学生リーダーの皆さん本当にご苦労様でした。

西宮クラブからは私以外にも山本、廣瀬、岩田、三島の各メンが参加しました。山本メンは神戸市東灘区の自宅から自転車、また廣瀬メンは自宅から歩いて来られました。岩田メンはお孫さんを連れて来られました。三島メンは宝塚クラブの長尾メンの娘婿さんと焼きそばを焼かれました。おいしかったです。

水の流れの暮暮に19

(俳句)

小野 勅紘メン

目ざめれば 障子の棧に 蝶の影

(庭に面した部屋に当宿。朝目覚めたら障子の棧になにやら蠢いている。裏に回ると大きな紋白蝶が一羽とまっていた。もうすぐ初夏だな。)

ゆや 夕焼け雲 りんねろくどう 輪廻六道 草沈む

(山の中腹あたりで夕闇迫る。輪廻六道<地獄 餓鬼 畜生 修羅 人間 天上の六道>は夕日と共に巡るのか。中国では太陽が沈むことを「草沈む」というが、地の底から六道が巡ってくるのかもしれない。)

波の舳に 葭切りの声 冴へ渡り

(昨年の3クラブ合同60周年記念例会のエクスカージョンで琵琶湖の

支流西の湖で水郷巡りに興じた。波の触先が琵琶湖の葦を掻き分け
で進むと葦切の甲高いキョキョという声が入り渡った。)

次年度六甲部準備役員会に参加して

浅野 純一メン

5月23日(土)、神戸YMCAにおいて開催された次年度六甲部準備役員会に次期会長として参加しました。大田厚三郎(神戸西)次年度六甲部長より部長主題、「希望の灯(灯火)となろう～地域社会を励ます活動を実践しよう～」に基づいて、次年度の運営方針及び諸課題について討議しました。

以下、留意する点について少し列記します。

(1) 部役員メーリングリストは全体に関わる情報連絡に用いることに留意し、特定者だけに送るメールは個別メールとする。クラブ行事の広報やブリテンの配信は可とする。

(2) Yサユース献金について、

西日本区の次期方針では「Yサ・ユース献金(国際AFS及びワンコイン運動含む)として一人平均1,500円を目標」とあるが、この献金がどのように使われるのかが不明確である。会員に説明できるように明確化を要求していく必要がある。

ユースという名前を記した活動が多くあって混乱のおそれがある。われわれ自身がよく整理して理解したうえで活動に対処する必要がある

(3) ファンド事業の活動計画として「使用済み切手の収集を部において実施する」とあるが、ねらいがはっきりしないので改めて主査と打ち合わせる。

なお、この準備役員会に今年度の六甲部のキャビネットを代表して足立メン(会計担当)が出席されました。足立メンは部に対して的確な指摘を数多くされていました。ご苦労様でした。

西宮ワイズ親睦会にて

足立 康幸メン

日時 2009年5月4日(祝日) PM12時30分より

場所 阪根新メン 芦屋市ご自宅
参加者 西宮ワイズメンバー メン ネット
コメント 22名

初夏の新緑を楽しもうと西宮ワイズのメンバー有志が集まり、阪根メンのご好意により親睦バーベキュー会を行いました。

六甲山麓の新緑の素晴らしい日本庭園の中で酒を酌み交わし、料理を頂き、連休の一時を参加者にはこやかに笑顔をやさしく特に関山メンは自ら買ってきた上質な肉をシェフなりに皆に振舞って下さいました。ありがとうございます。

また会話も弾みワイズの話 趣味の話等いつ終わるか・・・楽しい会でありました。

参加されなかった方は非常に残念な事と思います。阪根メンはじめご家族の方々には色々準備等大変だったかと思えます。お世話になり、ありがとうございました。参加者全員喜んでおり感謝申し上げます。

神戸YMCA 創立記念日礼拝

堤 一幸 メン

2009年5月8日、創立123年目の記念礼拝が神戸YMCAチャペルにおいて、溢れんばかりの(124名)出席者のもと行われました。西宮クラブからは、浜メン、広瀬メン、浅野メン、山本メン、岡田メン・メネット、堤が出席しました。

さて、ここからは私が通っている教会の週報のコラム『私の応答』(*1)に則って当日のメッセージを書きたいと思えます。(悪しからず)「世の光、地の塩」として地域、教会、YMCA(ワイズメンズクラブ)の歩みが語られました。この中には戦争責任や学園紛争、教会と国家・・・

現代(現在)の我が国では考えることがない諸問題に面と向かって関わっておられる姿、言葉がここにもあったのだと考えさせられました。

また、レイパーソンとして「顕在的」奉仕の場「神戸YMCA」での今日(5/8)の礼拝があることなど多くを語っていただきました。

最後に「種蒔く者として」、種蒔きは多くの挫折、失望、限界・・・である。

しかし、この種が、根を張り、実を結び、枝を張り、花を咲かす・・・。

全ては神の計画にあって、行われる。

私自身も昨年9月に事故に遭い、挫折、失望、限界と歩んでいた半年でしたが、私の足跡に種を蒔き、根を張り、実を結び、枝を張り、花を咲かしたい・・・です。

当日、私自身の37歳の誕生日にこんな素晴らしいメッセージを聞き、まとまりのない報告になりましたが、お許し下さい。

*1「私の応答」：神戸バプテスト教会の礼拝で語ったメッセージを自分の言葉で(辛口に?)応える週報のコラムです。たまには、礼拝後に紛糾することもしばしば...

音を重なる日々は心を重なる日々に-46



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム

LOVE 代表ひがしの ようこさん

音を重なる日々は心を重なる日々に - 4

6 今月もお休み

演 浩一メン



西宮YMCA保育園だより

三島 浩一メン (保育園園長)

(西宮YMCA保育園だより5月号より)

5月の主題：感じる

毎年恒例(?)の出来事ですが、4月の保育園には「おかーさーん!」という叫びや「ママがいい!」という訴えと共に、小さなクラスの子もたちの泣き声が響き渡っています。これまで家族の下で大きな愛に包まれていた子どもたちにとって、保育園での新しい生活は「不安」以外の何者でもありません。泣き叫んで当然です。中には、「不安」を感じることもできないままに保育園で生活し、しばらくしてようやく自分のおかれた状況が理解でき、泣き始めるといった子どもたちもいます。また、大きなクラスの子もたちも、「お兄さん、お姉さんになった!」という喜びと共に、「頑張らないと!!」というプレッシャーを抱えています。しかし、一日一日と保育園での生活を積み重ねていく中で、不安やプレッシャーを徐々に乗り越え、落ち着いて新しい生活を楽しめるようになっていきます。

新しい生活にも慣れてきた5月。子どもたちの中には、まだまだ不安やプレッシャーが残っています。この目に見えない、耳に聞こえない子どもたちの「心の声」をしっかりと受け止めることができる「心の目」を開いてくださることを神様に祈り、新しい先生やお友達、そして、命の息吹が感じられる自然、保育園での生活の楽しさを目で見、耳で聞き、鼻で嗅ぎ、舌で味わい、手足で感じていきたいと思えます。また、五感では感じる ことができないたくさんの人々の愛、そして何より神様の大きな愛を感じる事ができるようにゆったりと過ごしていきたいと思えます。

5月聖句：心の目を開いてくださるように。

(エフェソの信徒への手紙1章18節)

リーダー会だより

西宮宝塚YMCAリーダー会 新野 浩一さん

いつもご支援ありがとうございます。

5月2日には宝塚バザーに参加させていただきました。普段ではあまり関わることのできないワイズメンズクラブのみなさまと活動できるという貴重な体験をさせていただき、とても充実した楽しい1日となりました。また来年も是非参加したいと思えます。

5月10日にはエルマー(幼児さん)の例会で月見山に行きました。とても晴れていて暑いくらいの天気だったので子ども達もリーダーも半袖になって汗をたくさんかいて遊びました。服が汚れることも気にしないで泥だらけになったり、懐中電灯をもってドキドキしながらトンネルの中を探検したり、リーダーと一緒にロープを使ってブランコを作ったりと、体いっぱい自然を感じました!!帰りの電車の中では疲れはてて眠ってしまう子どもたくさんいて心も体もおもいきり楽しんだ例会となりました。

エルマーだけではなくロビンフッド、ピーターパン、トムソーヤと各セクションの子どもたちは新しい環境やお友達やリーダーに少しずつ慣れようと頑張っています。その努力に応えるよう私たちリーダーも4月5月と段階をふみ、それぞれ子どもの様子がみえてきたので、これからどうしようか、どんな関わりをしていこうかと意気込んでいるところです!!

子どもたちの笑顔がたくさん見られるよう頑張っていきたいと思っております。これからもご支援よろしくお願いたします。



西宮YMCA 三島浩司メン

4月に新学期が始まって1ヶ月あまりの5月、保育園や幼稚園や学校、また、YMCAの様々なプログラムのクラスでも子どもたちが意気込んで過ごす時です。5月のゴールデンウィークには少し息をついて、連休が明けると仕切り直し、新しいペースをつかみはじめる・・・はずでした。しかし、今年は流れが大きく崩れました。新型インフルエンザの襲来です。兵庫や大阪のほとんどすべての学校はもちろん、日常では気象警報が出て学校などのように休むことのない保育園までもが休園。学童保育やYMCAのプログラムも休業を余儀なくされました。幸い、日本では今回の新型インフルエンザによる死者が出るまでには至りませんでした。子どもたちは仕切りなおしの仕切りなおし。中には、遠足や修学旅行といった学校行事が中止され、仕切りなおしも十分出来なくなってしまった子どもたちもいます。

YMCAでも様々な活動が再開し、夏のキャンプの受付も始まっています。日常の様々な活動や夏のキャンプを通して、このような子どもたちへ十分なサポートが出

来るように、心して一つ一つの活動に取り組みねばと思っています。

1. 第20回チャリティーゴルフ

4月21日、第20回のチャリティーゴルフ大会が会員活動委員会のお世話で開催されました。当日は64名の方々がプレイし、約26万円が青少年指導者養成基金に寄付されました。過去20回の寄付金総額は約656万円にも達しています。ご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

2. 宝塚でミニバザー

5月2日、宝塚・逆瀬川駅前のアピアにおいて宝塚ワイズメンズクラブの皆さんが中心となって恒例のミニバザーが開催されました。今年も500名あまりの方が来場され、盛況の内に終えることができました。特に、お楽しみ抽選券の販売に際し、六甲部を初め多くのワイズメンの方々にご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

3. 123回目の創立記念日礼拝

5月8日、123周年の創立記念日礼拝が行なわれました。今年は、前の夙川東教会の牧師、辻建先生にお越しいたき、「種まくもの生」と題してメッセージをいただきました。120名を超える会員、ボランティア、職員が集り、ともに記念日を想う豊かなひと時が与えられました。辻先生は現在、引退牧師として、また協力牧師として山口県の周防大島に移られましたが、3月までは夙川におられ、宝塚ワイズメンズクラブの一員として西宮ランチの応援をしてくださっていました。当日は先生の牧師としての歩みや、特に1988年以降、神戸YMCAの一員として歩まれた想いを語ってくださいました。

また、礼拝後、第26回タイワークキャンプの報告が参加リーダーからなされ、感動を呼びました。

4. 新型インフルエンザ、神戸で国内初感染

5月16日、神戸で高校生3名が新型インフルエンザに感染していることが否定できない状況であることが神戸市から通知され、神戸YMCAとしては直ちに緊急会議を開き、対応を決めました。

当初、中央区、灘区、東灘区及び芦屋市での措置でしたが、やがて兵庫区、長田区、北区での対応も同様となり、兵庫県続いて神戸市第3学区でも同様のインフルエンザ対応の措置が発表されました。神戸YMCAは3法人共に、行政の指示、要請に従い、基本的には22日まで幼少年活動や学校事業については休業の対応をとりました。成人のプログラムについては、注意を喚起しつつ個人の判断に任せて、プログラムは実施いたしました。22日に、兵庫県、神戸市の休業措置緩和決定を受け、23日から（一部は25日から）プログラムを再開いたしました。再開後も、園児、学生、会員など、またスタッフ、講師、ボランティアのそれぞれの体調に留意し、マスクや手洗い、アルコール消毒励行などの感染予防は継続し、更なる感染を防ぐ対策をとっています。

5. 今後の予定

1) 第19回チャリティーワイン

日 時：6月26日（金）18:30～20:30
場 所：神戸YMCA 4階 サイコー亭
参加費：6,000円
申込先：神戸YMCAウエルネスセンター
TEL：078-241-7202

2) 第22回午餐会

今回は昨年開校したばかりの関西学院初等部（小学校）の部長（校長）である磯貝曉成さんにお越しいただき、「日本の中等教育に欠落していたもの」と題してお話をいただきます。関西学院の新しい初等教育の現場から、子どもたちの教育に大切なことは何か、示唆に富むお話を伺います。是非、ご予約ください。

日 時：7月4日（土）12:00～14:30
場 所：神戸YMCA 4階 サイコー亭
会 費：3,000円（含：昼食）
申込先：神戸YMCA本部事務局
TEL：078-241-7201

余島からあなたへ

「子供たちが教えてくれること」

余島野外活動センター 中島 晋さん
ゴールデンウィークが終わりましたが、連休中皆様はどのように過ごされましたか？

余島では毎年、「GWファミリーキャンプ」と題して親

御さんとお子様と一緒に参加されるキャンプを2泊3日で催しています。このキャンプは、余島ならではのプログラム（キャンプファイヤー、ナイトハイキング、タコ捕り、カヌー体験などなど）に参加してもらいワイワイ盛り上げられるキャンプです。（秋にもファミリーキャンプがあります。）ファミリーキャンプの醍醐味は、なんとと言っても他の家族間のつながりができることと、そして普段とは違った家族の表情を見られること（特に子どもが親のいきいきとした表情を見ることができる）です。

常連の方ももう何年もこのキャンプに参加されており、余島スタッフより余島のことを知っておられます。特に釣りにになると参加した子どもたちは大物のメバルなど、食べてもおいしい魚を2メートルそこそこの竹竿で何匹も釣り上げます。後日、余島スタッフで子どもたちが釣り上げた以上のものを釣ってやろうと意気込み、投げ竿を担いで釣り場に向かいましたが、絶好の潮汐にも関わらず、期待むなしく竿をひくのは小さなクサフグばかり・・・完敗でした。（クサフグが釣り上がる数は、釣り師の腕に反比例するらしいですが、10月には80cmの太刀魚も上げています。）

道具に頼らず、五感を使い大物を釣り上げてくる子どもたちを見ていると、きっと釣りに限らず、自然の中には大人には分からない子どもにしか開けることができない「秘密の扉」がたくさんあるのだろう、と感じることができたGWでした。

2009年6月号

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理 事 通 信

西日本区理事 佐藤 典子

理事主題 「思いやりを持ってワイズライフを！」



奈良大会の理事引継式で第12代西日本区理事を拝命してから1年、皆様の暖かいご支援、ご協力のおかげで理事の務めを無事、終えることが出来そうです。

この1年、各部会や周年例会、DBC締結などに出席させていただきましたがその際、思いやりと心遣いで楽しい例会、メンバーが参加したくなる例会を企画して下さいと申し上げてまいりました。私にとりましてはこの1年、多くのワイズメン・メネットとの出会いがありましたし、楽しいワイズライフを過ごさせていただき、皆様の思いやりと心遣いを実感した1年でした。

国際からの新しいプロジェクト「ロールバックマラリア」が発表され、西日本区の皆様に区の目標を上回る多くの献金をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。また、昨年10月には「ワイズ読本」が発刊されました。私達にとって「希望の灯」となる言葉がたくさん詰まっている本です。皆様のお手元においてご活用いただければ幸いです。2,000名を目指しております会員増強では、EMC事業委員会のご努力と皆様の会員増強への意識が高まって少しずつ増えてまいりましたし、新クラブも熊本に2クラブ、広島に1クラブが誕生いたしました。

このような皆様の活動が、1枚の葉となり枝となって大きな西日本区の樹となっていると感じています。そして、その大きな木陰、熊本での第12回西日本区大会でお持ち申し上げております。

残り1ヶ月となりましたが、会長の皆様には思いやり



広島西クラブチャーターナイト（5月24日）

と心遣いで現在の会員数を維持していただきますようくれぐれもお願い申し上げます。

この1年、ご一緒に活動いただきました役員の皆様、会長の皆様のお働きに心より感謝申し上げます、最後の理事通信のご挨拶といたします。ありがとうございました。

トピックス・とびっくす

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、環境省が所管している「動物の保護及び管理に関する法律」とは、を前回に続いて紹介しましょう。

7. 犬及びねこの引取りなど

都道府県等は、犬やねこの所有者から引取りを行います。また、飼い主のわからない犬やねこ、道路・公園・広場など公共の場所で病気やけがを負って発見された犬やねこなどの収容を行います。

8. 動物愛護週間と普及啓発

国や地方自治体は、学校、地域、家庭などへの教育活動、広報活動を通じて、動物の愛護と適正な飼養の普及啓発を行います。また、毎年9月20日から26日を動物愛護週間とし、さまざまな行事を実施します。

編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

5月2日は宝塚クラブのミニバザー。4日には西宮ワイズの阪根メン宅での楽しい食事会。8日は神戸Y創立123周年の記念礼拝と行事が続きました。その後西宮YMCAでの肅々とした例会では山口六甲部部長の6月6日の熊本での西日本区大会リハも兼ねての六甲部活動報告。その翌週は西宮Yでの東部地域委員会、神戸Y社福の評議会、常議員会、余島での少年部リーダーOB・OG会。29日は神戸YMCAの総会、そのちょっと前に甲子園で対西武戦への応援。31日は近江岸さんを偲ぶ会。健助さんが亡くなられてはや1年。去年の西日本区大会でのメモリアルアワーで登場された“常識やで”の堀川メンを偲ぶ会も、氏の馴染みのお店でビール・ワインを飲みながら、蘊蓄を、講釈を語りながら思い出に耽りたいものです。

